

令和6年度 課の運営方針書

教育部 中央図書館

1 課の運営方針

【課の使命】

「知の拠点」としての直営5館は、地域の読書活動・生涯学習活動の支援を行うとともに、地域の情報拠点としての役割も果たします。また、「知の広場」としての徳山駅前図書館は、民間活力導入図書館として、「賑わいと交流の場」の創出を図る役割も担います。

【課の目標】

- ① 読書普及啓発活動の推進
「第四次周南市子供読書活動推進計画」を策定するとともに、子供が読書に親しむことができる環境整備を推進します。
- ② 利用者の増
幅広い層に対するサービスを展開することで、利用者の満足する図書館づくりに努め、利用者増をめざします。
- ③ 利用者への的確な対応
職員の資質向上を図ることで、多様化・高度化する利用者のニーズに対応します。
- ④ 生涯学習時代に対応した資料収集
各館の特徴を活かしながら、新鮮で広範囲にわたる資料の収集・充実をめざします。
- ⑤ 図書館施設の整備
安心安全かつ快適な読書環境を提供します。

【行財政改革への取組み】

- ・ 業務分担化、共有化、「見える化」を進め、過度の負担を軽減しつつ、利用者サービスの向上を図ります。
- ・ 利用者のニーズに応えられるように、新鮮で広範囲にわたる資料収集に努めるとともに、長期的に施設を維持できるよう、効率的かつ効果的な方策を進めます。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

(管理担当)図書館の管理運営、行事、電子図書館に関すること
(普及担当)図書館サービス、資料選択に関すること
(新南陽図書館)(福川図書館)(熊毛図書館)(鹿野図書館)地域の「知の拠点」としての図書館サービスに関すること
(徳山駅前図書館)「知の広場」としての図書館サービス、「賑わいと交流の場」の創出を図ること

3 課の経営資源

(1) 課の体制

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|----|-----|-----|---|--------------|-----|-----|-----|----------|--------------|----------|
| 職員数 | 40人 | うち | 正職員 | 13人 | ・ | 会計年度 任用職員 | 27人 | 人件費 | 正職員 | 93,678千円 | 会計年度 任用職員 | 75,141千円 |
|-----|-----|----|-----|-----|---|--------------|-----|-----|-----|----------|--------------|----------|

※R4職員平均給与(7,206千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

| | | | | | | |
|-------|-----------|-------|-----------|-------------|---------|-----|
| 歳入予算額 | 266,700千円 | 歳出予算額 | 567,741千円 | (正職員人件費を除く) | 担当予算事業数 | 7事業 |
|-------|-----------|-------|-----------|-------------|---------|-----|

4 課の中期目標（優先順）第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

| 目標 | 推進施策 | 実現したい成果（最終目標） |
|----|--|--|
| 1 | 2 生涯学習・人権 1 生涯学習の推進 3 図書館サービスの充実 | 利用者の多様なニーズに対応した資料・情報の充実を図ります。 歴史や文化等に関する地域資料を収集、保存し提供します。 |
| 2 | 2 生涯学習・人権 1 生涯学習の推進 2 学習機会の充実 | 子供が読書に親しむことができる環境づくりを進めます。 だれもが利用しやすく、安心安全に滞在できる読書環境を整備します。 |